

令和8年度アレルギー疾患対策事業計画について

1 協議会の開催

(1) 第1回福島県アレルギー疾患医療連絡協議会

日時

令和8年7月16日（木）開催

内容

ア 令和8年度アレルギー疾患対策事業計画について

イ 令和9年度アレルギー疾患対策事業計画（案）の方向性について

(2) 第2回福島県アレルギー疾患医療連絡協議会

日時

令和9年2月（予定）

内容

ア 令和8年度アレルギー疾患対策事業実績について

イ 令和9年度アレルギー疾患対策事業（案）について

2 令和8年度福島県アレルギー疾患市民講座

(1) 継続通年動画配信

ア 内容

(ア) 大人の「ぜんそく」～どんな検査をするの？どんな治療をするの？～

(イ) アレルギー性鼻炎（花粉症）の治療について

(ウ) 食物アレルギーについて

(エ) アトピー性皮膚炎のスキンケアについて～毎日の習慣にしよう～

(オ) アレルギーを持つお子さんの保育所・幼稚園等の入園に向けて

(カ) アレルギーを持つお子さんの入学に向けて

(キ) 災害時の対応について

(ク) PAE と学ぶスキンケア～年齢別の対応方法～

(ケ) 食物アレルギーをもつ方の食生活が豊かになるために～食物経口負荷試験ってなに？～

(コ) クリニック PAE としての活動と食物アレルギーの対応～家族で出来ることは？～

(サ) アトピー性皮膚炎の診断から最新治療まで

(シ) 小児の喘息について

イ 開催方法

福島県健康づくり推進課ホームページにおいて Youtube にて配信

ウ 周知方法

(ア) アレルギーをもつ子どもを育てる保護者を対象に、効果的に啓発動画を視聴いただくことができるよう、動画QRコードを掲載した「赤ちゃんの湿疹対策」を、母子手帳交付時等に配布し動画視聴につなげる。

(イ) 当課ホームページへの掲載

(ウ) アレルギーを持つ子どもを育てる保護者を支援する市町村保健師等を対象に、動画 PR チ

【資料 1－1】

ラシを研修会等で配付し動画視聴につなげる。

(2) 新規動画配信

- ア 日時
動画の作成次第配信予定
- イ 内容（仮）
成人の食物アレルギーについて
- ウ 講師
未定
- エ 開催方法
福島県ホームページにおいて Youtube にて配信

3 アレルギー疾患対策普及啓発事業

- (1) 日時
通年
- (2) 目的
既存の市民講座やパンフレット等をより活用し、アレルギー疾患の知識や治療法に関する正しい知識を県民に広く普及啓発する。
- (3) 内容
・ラジオや新聞などを通して普及啓発活動

4 アレルギー疾患災害対策強化事業

- (1) (新) 市町村における災害時のアレルギー疾患対策に関する実態調査 **【資料 1－2】**
 - ア 目的
市町村での災害時のアレルギー疾患対策の進捗状況について把握し、災害時のアレルギー疾患対策の実態を明らかにする。
 - イ 対象者
59市町村
 - ウ 調査時期
令和8年4月17日～6月5日
 - エ 調査内容
市町村における災害時のアレルギー疾患対策に関すること
(備蓄状況や避難所運営の実態、平時からの対策等について調査を実施した。)
 - オ 調査結果
【資料 1－2－1】 のとおり
- (2) (新) 災害時に向けた備蓄に関する普及啓発 **【資料 1－3】**
 - ア 目的
ローリングストック等の災害時に向けた備蓄の方法や備蓄の必要性について学ぶことが出来るリーフレット等の啓発資材を作成し、アレルギーの子を持つ両親を中心に県内小児科の医師等から配布することで災害時の備蓄に関する正しい知識を啓発する。

【資料 1－1】

イ 対象者

アレルギー疾患の子供をもつ保護者

ウ 配布先

県内の小児科を標榜している医療機関、県内 59 市町村、各保健福祉事務所

(3) (新) 災害時のアレルギー疾患対策における多職種連携研修会について 【資料 1－4】

ア 目的

災害時には、アレルギー疾患を持つ人々は、食事の制限、避難生活のストレスなど、健康面への様々な悪影響が懸念され、アレルギー疾患が悪化する可能性がある。そのため、避難所設置主体である市町村と各種支援団体等（JDA-DAT、DMAT、JMAT 等）の多職種が連携し、安全・安心な避難生活を送れるように支援することが重要になる。

しかし、多職種と連携し、安全・安心な避難生活を送れるように支援するには、平時から市町村職員が各種支援団体の役割を理解しておくことが必要になる。

そこで、それぞれの支援団体の役割を理解し、どのような連携を取ることが望ましいのか知るために研修を行う。

イ 対象者

市町村職員、各保健福祉事務所職員、本庁関係各課、県栄養士会会員、県薬剤師会会員等

ウ 開催方法

WEB 開催

5 アレルギー疾患標準治療普及啓発研修会事業

(1) アレルギー疾患医療中心拠点病院医師派遣について

ア 研修名

アレルギー研修 (B 研修)

イ 対象

アレルギー疾患拠点病院(福島県立医科大学附属病院) 1～2名

ウ 研修日程

研修スケジュールが公開され、中心拠点病院ホームページに掲載されている

エ 研修期間

1～2週間

(2) 総合アレルギー講習会について

ア 研修名

総合アレルギー講習会

イ 対象

アレルギー疾患拠点病院医師で今後アレルギー専門医を取得予定がある 医師 2 名

ウ 研修場所

兵庫県

エ 研修日程

未定

6 アレルギー疾患対策従事者研修

【資料 1－1】

- (1) 研修名
アレルギー疾患対策従事者研修
- (2) 対象者
都道府県等の自治体に勤務し、アレルギー疾患対策に係る保健師 1名
- (3) 研修日程
2026年9月17日（木）～9月18日（金）
- (4) 研修期間
2日
- (5) 研修場所
国立保健医療科学院
- (6) 受付期間
2026年6月15日（月）～7月14日（火）
- (7) 内容
 - ・アレルギー疾患に対する都道府県・市町村、拠点病院の役割、連携体制に関する取り組み
 - ・アレルギー疾患に対する災害時の取り組み

7 専門職向け研修会の開催（主催：大塚製薬株式会社、後援：福島県）【資料1－5】

- (1) 対象者
医師・メディカルスタッフ
- (2) 研修日時
5月30日（土）15：00～16：30
- (3) 研修会場
郡山労働福祉会館 中ホール（対面とWEB配信によるハイブリット開催）
- (4) 研修名
医師・メディカルスタッフのための小児アレルギー診療実践セミナー
- (5) 研修内容
テーマ「気管支喘息について」
- (6) 講師
公立岩瀬病院 星 結花氏（看護師／PAE）
公立岩瀬病院 渡辺 亮先生（薬剤師／PAE）
公立岩瀬病院 齋藤 淳哉先生（小児科医）
坪井病院 齋藤 美加子先生（呼吸器内科医）